

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 3 区分  
 【発行日】平成31年2月14日 (2019.2.14)

【公表番号】特表2018-519172(P2018-519172A)  
 【公表日】平成30年7月19日 (2018.7.19)  
 【年通号数】公開・登録公報2018-027  
 【出願番号】特願2017-562739(P2017-562739)  
 【国際特許分類】

**B 2 3 P 19/00 (2006.01)**

**B 2 3 P 19/02 (2006.01)**

【F I】

B 2 3 P 19/00 3 0 1 D

B 2 3 P 19/02 B

【手続補正書】  
 【提出日】平成30年12月25日 (2018.12.25)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

- 送り装置 (3) と、

- 阻止位置と解放位置との間で揺動可能な少なくとも 1 つのレバー (4) を備えた、阻止装置 (4) と

を有する、結合部材 (2) を位置決めする装置であって、

前記結合部材 (2) が前記送り装置 (3) によって引き取り領域 (I) から接合装置のための引き渡し領域 (II) へ移動可能であり、少なくとも 1 つのレバー (40) が前記阻止位置と前記解放位置との間で揺動可能であり、かつ前記少なくとも 1 つのレバー (40) が前記阻止位置において、前記引き取り領域 (I) から前記引き渡し領域 (II) 内への前記結合部材 (2) の移動を阻止する、ものにおいて、

前記少なくとも 1 つのレバー (40) に対して変位可能な少なくとも 1 つの終端ストッパが設けられており、該少なくとも 1 つの終端ストッパによって、前記阻止位置から前記解放位置への前記少なくとも 1 つのレバー (40) の移動が阻止可能であって、

前記少なくとも 1 つのレバー (40) が、第 1 のアーム (41) と第 2 のアーム (42) を有する両側のレバー (40) として形成されており、かつ

前記少なくとも 1 つのレバー (40) の前記第 1 のアーム (41) が、前記阻止位置から前記解放位置への前記少なくとも 1 つのレバー (40) の移動を阻止するために前記少なくとも 1 つの終端ストッパと協働し、かつ前記少なくとも 1 つのレバー (40) の前記第 2 のアーム (42) が、前記阻止位置において前記結合部材 (2) のための保持ジョーとして機能する、

ことを特徴とする結合部材を位置決めする装置。

【請求項 2】

前記阻止装置は、逆方向に揺動可能な 2 つの両側のレバー (40) を有しており、前記レバー (40) の前記第 1 のアーム (41) が、前記阻止位置から前記解放位置への前記レバー (40) の移動を阻止するために前記終端ストッパと協働し、かつ前記レバー (40) の前記第 2 のアーム (42) が、前記結合部材 (2) 用の保持ジョーとして機能する、ことを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

**【請求項 3】**

前記少なくとも 1 つのレバー (40) に力部材、特にばね部材 (45) が対応づけられており、前記ばね部材がレバー (40) を前記阻止位置へ強制移動させる、ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の装置。

**【請求項 4】**

前記結合部材 (2) が前記送り装置によって前記少なくとも 1 つのレバー (40) の前記第 2 のアーム (42) に沿って前記引き渡し領域 (II) 内へスライド可能である、ことを特徴とする請求項 1、2 又は 3 に記載の装置。

**【請求項 5】**

前記送り装置 (3) が、前記少なくとも 1 つのレバー (40) に対して線形に摺動可能なスライダ (30) を有しており、前記スライダ (30) の第 1 の部分が終端ストッパとして機能する、ことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の装置。

**【請求項 6】**

前記スライダ (30) が、長手方向において前記第 1 の部分に対して離隔した第 2 の部分を有しており、該第 2 の部分は、アンロック位置を通過した後に前記少なくとも 1 つのレバー (40) の前記解放位置への揺動を可能にするための形状を有している、ことを特徴とする請求項 5 に記載の装置。

**【請求項 7】**

前記レバー (40) の前記第 1 のアーム (41) が、前記スライダ (30) の操作ルート内へ突出する、前記終端ストッパと協働する突出部 (44) を有しており、好ましくは前記スライダ (30) の前記突出部 (44) へ向いた壁が前記第 2 の部分内に溝 (32) を有している、ことを特徴とする請求項 6 に記載の装置。

**【請求項 8】**

アイドルストロークにおいて、前記引き渡し領域 (II) の方向における前記送り装置 (3) の最大の操作移動が、結合部材 (2) の位置決めストロークにおいてよりも大きい、ことを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の装置。

**【請求項 9】**

結合部材を引き取り領域 (I) へ個々に供給するための供給装置 (6) と、  
引き渡し領域 (II) 内に位置決めされた結合部材 (2) をセットするためのセッティングピストン (7) と、  
送り装置 (3) 及び阻止装置 (4) を有しており、結合部材 (2) を前記引き取り領域 (I) から前記引き渡し領域 (II) 内へ移動させることのできる、請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の装置と、  
を有する、結合部材をセットする装置。

**【請求項 10】**

結合部材 (2) を位置決めする方法であって、結合部材 (2) が送り装置によって引き取り領域 (I) から接合装置のための引き渡し領域 (II) 内へ移動され、前記引き取り領域 (I) から前記引き渡し領域 (II) 内への前記結合部材 (2) の移動が、阻止装置 (4) の阻止位置に配置された少なくとも 1 つのレバー (40) によって阻止され、前記阻止装置 (4) の前記少なくとも 1 つのレバー (40) が、前記結合部材 (2) を前記引き渡し領域 (II) へ移動させるために、解放位置へ移動される、ものにおいて、

前記結合部材 (2) が前記引き取り領域内に引き取られる場合に、前記阻止位置から前記解放位置への前記少なくとも 1 つのレバー (40) の移動が、終端ストッパによって阻止され、

前記少なくとも 1 つのレバー (40) が、第 1 のアーム (41) と第 2 のアーム (42) を有する両側のレバー (40) として形成されており、

前記引き取り領域 (I) 内に前記結合部材 (2) が引き取られる場合に、前記少なくとも 1 つのレバー (40) の第 1 のアーム (41) は前記終端ストッパと協働するので、前記阻止位置から前記解放位置への前記レバー (40) の移動が阻止され、かつ

前記引き取り領域 (I) から前記引き渡し領域 (II) 内への前記結合部材 (2) の移

動が、前記阻止装置（４）の前記阻止位置に配置された前記少なくとも１つの両側のレバ  
-（４０）の第２のアーム（４２）によって阻止される、  
ことを特徴とする結合部材を位置決めする方法。